

本気・元気・根気

まんのう町立満濃中学校
〒766-0022
まんのう町吉野下 957 番地
TEL 0877-73-2107
FAX 0877-73-4685

短い夏休みをいかに有意義に過ごすか？

明日から19日間に短縮された夏休みが始まります。まずは生活のリズムを崩さないように気を付けてください。長い休みになるとどうしても自分に甘くなりがちですが、自らの生活を設計し、規則正しい生活を送ることで、自主的・自律的な態度が身に付きます。各家庭でも生活リズムの乱れにご注意をお願いします。夏休み中には、3年生を中心として高校のオープンスクールが実施されます。自分の進路を考える大変貴重な機会ですし、自分の今の姿を評価される機会でもあります。自分自身を見つめ直し、自分を律する姿勢で臨んでください。また、夏休み中に部活動などを欠席する際には、確実に学校（顧問）へ連絡してください。不審者情報をはじめ、事件・事故等が発生した場合も学校に連絡をお願いします。

〔電話対応は平日8：00～16：30、学校閉庁日は8月11日～14日です。〕

7月の長梅雨は、2年前の西日本豪雨や昨年10月の台風19号による被害を思い出させるような大きな被害をもたらしました。幸い香川県に大きな被害はありませんでしたが、他県では多くの方が亡くなる大変甚大な被害でした。この場を借りて、亡くなった方のご冥福をお祈り致します。また、新型コロナウイルスも、首都圏を中心に第二波が心配されている状況です。県内でも多数の感染者が出ており、感染経路が分かりにくい状況も増えています。明日からも決して油断せずに過ごしてください。各家庭におかれましても、これまで通り十分に配慮した生活をよろしくお願い致します。それでは短い夏休みですが、有意義に過ごして2学期への良いリフレッシュ期間にしてください。

1学期は、運動会や総体・コンクールの中止、新しい生活様式の徹底、7時間授業など、慣れない生活の中で、我慢したり悔しい思いをしたり、どこかでモヤモヤした気持ちが常にあったのではないのでしょうか。しかしその反面、「あたりまえの日常をあたりまえに過ごすこと」「協力して感謝すること」が、どれだけ価値があり、大切なことなのかを、私たちは学んだ気がします。これから先も、どう状況が変化していくのか予測が付きません。だからこそ、3年生は進路に向けて、1、2年生はこれまでの学習の復習や新体制での部活動に向けて、夏休みを後悔のないように過ごしましょう。自律心の強さが試される時です。

(生徒会長 大西彩巴さん)



行事予定(8月) ☆短縮7時間授業、★短縮6時間授業 部活動終了時刻18時30分

日	月	火	水	木	金	土
						1 [夏季休業開始] 仲善交流大会
2 仲善交流大会 吹奏楽部コンサート①	3	4 期末懇談会	5 3年修学旅行周知会	6 県よい歯の児童 生徒審査会	7 町PTA活動情報 交換会	8
9 なぎなた級審査 会	10(山の日)	11 [学校閉庁日]	12	13	14	15
16	17	18	19	20 [2学期始業式] 4時間授業 部活動休業日	21☆ 学校運営協議会	22
23	24☆ 生徒企画委員会	25☆ PTA学級部会	26★ 常置委員会 部活動休業日	27☆	28☆ 郡PTA役員会	29 吹奏楽部コンサート②
30	31☆					



中学生交流大会



仲善中学校交流大会情報

競技名		団体	個人
卓球	男子	優勝	シングルス2位 小笠原さん、3位 養田さん
	女子	優勝	シングルス3位 田村さん
バレーボール	男子	優勝	※
	女子	優勝	※
剣道	男子	優勝	1位 新名さん、2位 川岡さん
	女子	優勝	1位 泰田さん、2位 香川さん
ソフトテニス	男子	3位	※
	女子	優勝	※
サッカー		2位	※
軟式野球		8/1 善通寺市営球場にて開催(準決勝から)	
バスケットボール	男子	8/1 善通寺市民体育館にて開催	
	女子	8/1 善通寺市民体育館にて開催	
ソフトボール		8/1 善通寺東中にて開催	
バドミントン	女子	8/2 善通寺市民体育館にて開催	

県なぎなた交流大会

競技名		個人
なぎなた	女子	基本の部2位 中さん
	女子	創作演技の部3位 中さん、敢闘賞 今井さん

ボランティア情報

今年度は新型コロナウイルスの影響もあって、生徒たちは全くボランティアができない状態でしたが、6/19(金)から恒例の交通立哨ボランティアが始まりました。参加した生徒たちは、各地点で小学生の登校補助をするなど、地域のために貢献しました。また、トイレ清掃などの自主的なボランティア活動に取り組んでいる生徒たちの呼びかけで、7月の豪雨のため、河川の氾濫で大きな被害を受けた熊本県人吉市と芦北町に対して、応援メッセージ入りの土嚢袋を送る活動を行いました。

【生徒感想】

「私は熊本が大きな被害を受けたと聞いて、何かできることはないかと思って参加しました。少しでも被害を受けた人の役に立てると嬉しいです。被災地から離れているから何もできないではなく、これからも自分たちにできることをしていきたいです。」(2-2 門田渚沙)

